



THE SERVICE CLUB OF YMCA
THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

2025年1月

札幌クラブ

EF・JEF (Endowment Fund, Japan Endowment Fund)

c/o YMCA
MINAMI 11 NISHI 11
CUO-KU SAPPORO
〒064-0811
011(561)5217

一 主 題 NOVEMBER 21, 1955

国際会長 「Together for a better world」
アジア会長 「変革のための光となろう」
東日本区理事 「Our Future Direction
ワイズの方向性を見極める」
北海道部部长 「Well Beingなワイズライフを！」
札幌クラブ会長 充実した人生を送るためのワイズ活動」

A. Shanavaskhan (インド)
ジョウン・ウオン (香港)
山田 公平 (宇都宮)
柴田 伸俊 (札幌)
小野 健 (札幌)

札幌クラブ役員
会 長 小野 健
副会長 山崎 修
書 記 本宮 大輔
会 計 秋葉 聡志
直前会長 小野 健

まるで今日が人生最後の日であるかのように生きよう
スティーブ・ジョブズ 中田靖泰選

巻頭言 仲間を増やしましょう! 札幌クラブ会長 小野 健



ワイズメンの皆さま、新年あけましておめでとうございます。
2024年は十勝で開催された東日本区大会やユースアクション「グッズドライブ」でのYMCAユースボランティアのサポート、今回初めて hitaru (札幌文化芸術劇場) で実施した安田文子メンのチャリティー・ピアノコンサート、汝羊寮学Yの皆さんとの交流再開など、なかなか充実した活動ができたと考えています。これもひとえにクラブメンバーの皆さんの頑張りがあったからこそと思います。本当に有難うございました。

クラブの事情もあり、来期ももう一年クラブの会長を務めさせて頂くことになりました。ようやく再び関係ができつつある汝羊寮の皆さんとのコラボをより一層進めていくとともに、ユースアクションやYMCAの活動を通じて汝羊寮とYMCAユースボランティアの皆さんの間の架け橋ができるように、引き続きユースのサポート・応援を強めたいと考えています。

ワイズとしての活動やYMCAのサポートもさらに充実していければと思いますが、今年は少しでも一緒に活動してくれる、色々なことにチャレンジしてもらえ仲間を増やしていきたいと考えています。

相変わらず海外の仕事で飛び回る生活で、ワイズの活動・例会にも出られないことの多い会長ではありますが、本年も楽しい充実したクラブ活動を目指していきたいと考えており、引き続き宜しくお願い致します。



ブルキナファソってどんな国？

小野会長の主戦場ブルキナファソはサハラ砂漠の南、6か国に囲まれた小国です。国名の意味は「高潔な人々の国」です。人口およそ1,900万人。人口の半数はこどもです。宗教は伝統的な土着宗教45%、イスラム教31%、キリスト教13%です。

人口の80%は農業に従事しています。主作物は綿やトウモロコシ、タロ薯。平均年収6万円という世界最貧国のひとつです。その国で小野会長は水利を中心とした農業技術支援に奮闘しています。

2024年12月例会
出席報告

在籍会員 12名 出席者 8名 ネット 0名 メーキアップ 0名
ゲスト 1名 ビジター 1名 出席者合計 10名 出席率67%

札幌ワイズメンズクラブ 2025年1月例会

日時：2025年1月21日（火）18:30～20:30
会場：札幌YMCA 101教室+リモート
会費：1,000円

司会 山崎 修

- ① 開会点鐘 会長 小野 健
- ② ワイズソング、ワイズの信条 全 員
- ③ 今月の言葉・なぜこの言葉を 中田 靖泰
- ④ 開会あいさつ 会長 小野 健
- ⑤ 誕生日 1月5日 伏木 恵美子
- ⑥ 結婚記念日 なし
- ⑦ 卓話

身体ケアについて(仮) 佐藤 康裕氏

- ⑧ 諸報告
- ⑨ YMCA報告 担当主事 北川 佳治
- ⑩ 私も一言
- ⑪ 今月の歌

「雪山賛歌」 山崎 修選



- ⑫ 閉会あいさつ、閉会点鐘

札幌クラブ会長 小野 健

札幌ワイズメンズクラブ2024年12月例会



前列：左から 中田、小谷、秋葉、安田
後列：左から 柴田、伏木、北川
スクリーン：小林

日時：2024年12月17日（火）18:30～20:30
場所：札幌YMCA101教室
出席者：秋葉、小谷、北川、柴田、中田、
伏木、安田 リモート：山崎、山下（十勝）
ゲスト：小林（卓話者） 出席者計 10名

12月に誕生日・結婚記念日を迎える会員、メネットは6名もいます。（中田千鶴 12月19日は記載漏れ）中でも山崎一家は、12月22日・修誕生日、23日・樹誕生日、24日・修&樹結婚記念日と3日連続のアニバーサリーでした。

誕生祝いに次いで、クリスマス恒例となっているプレゼント交換。輪になって「聖しこの夜」を歌いながら、何が当たるだろうとワクワクしながら盛り上がりました。

卓話は北見YMCAの小林武史さんの「最近のチミケップ状況」。題名から考えて最近老朽化しているチミケップを守る苦労話かと思いきや、案に相違して日本YMCAのキャンプ場として設立されて以来の60年の国際親善・交流の壮大なお話で、北海道だけでなく日本Yの宝であることを思い知らされました。卓話要旨は2月号に掲載します。

何故このことばを！ 中田靖泰

私はこの言葉より「明日のことを思い煩うな（マタイ・6-34）」で生きてきたように思う。でも明日が残り少なくなって考えてみると、その読み方はその前「野の花とソロモンの栄華」を読むといかに浅薄なものであったかが分かる。明日を思い煩わなくてもよいのはステイブ・ジョブズのように「明日はない」と思って今日を生きる者だけだということ。好きな彼の言葉をもうひとつ。「ハングリーであれ。愚か者であれ。」

何故この歌を 山崎 修

「今月の歌に『雪山賛歌』を選んだのは、雪山といえば真っ先にこの曲が頭に浮かぶからです。

スキーや雪山を題材にした曲はたくさんありますが、他の曲は恋愛ものが多く、真剣にスキーに取り組んできた自分にはあまりピンとこないと感じました。



北大汝羊寮学Yとの交流会

札幌クラブ会長 小野 健

2024年11月28日(木)に、札幌駅前通りの串鳥番外地にて、汝羊寮の皆さんとワイズとの交流会が開催されました。昨年12月に引き続いて2回目の交流会となりました。今回は、汝羊寮から、池田航介さん(環境科学院修士2年)、板垣圭哉さん(北海学園経営学部2年)、西松広香さん(農学部応用生命科学科3年)、アムエルさん(工学部修士1年、内モンゴル自治区からの留学生)の4名に参加いただきました。ワイズメンからは8名(+私の娘の希が同じ大学生ということで参加させていただきました)の参加となりました。

今回は親睦目的の会で堅苦しいことはなしということで、お互いに何をやっているのか、どんなことに興味を持っているかを、お酒片手に鍋を囲みながら(熱すぎて鍋の蓋を落として割ってしまうというアクシデントはありましたが)、和気あいあいと語り合う楽しい会となりました。



汝羊寮メンバーは皆さんとても個性的で、起業していたり、留学生支援を行っていたり、カフェを経営したり、と学業はもちろんですが、様々な活動をしていてとても感心しました(希は韓国アイドルの推し活と韓国語しか取り柄がないと少し落ち込んでいました...). クラブ例会の卓話で色々とお話していただけたそうです。

昨年の1回目の懇親会から少しずつ汝羊寮とワイズとの間で親睦と交流の輪ができてつつあり、ユースアクションを含めて、汝羊寮とワイズでしたいいろいろな活動のアイデアが生まれてきそうで、わくわくします。次回は暖かくなってから、今回活動多忙で参加できなかったYMCAユースボランティアも誘って、今回無念の参加リタイヤとなった山下さんや他のクラブにも声がけして、汝羊寮でのパーベキュー大会を是非とも企画して、どんどん盛り上げていきたい、と勝手に考えているところです。

札幌ワイズメンズクラブ チャリティーコンサート

安田文子ピアノ&トーク コンサート

12月4日(水)18:30より札幌文化芸術交流センター1階 SCARTS コートにおいてポーランド研究会主催、北海道YMCA、札幌クラブ、市教育委員会、北海道新聞社が後援して開催されました。メンバーは、17:00集合、観客席の椅子を並べ、受付、販売品の準備をしました。特に、チャリティーは、国際協力募金でベトナムワーク(教室建設)のためにということもあり、ベトナムハンディキャップセンターで子どもたちが制作したキーホルダー他ベトナムグッズの販売も行われました。

ショパン作曲のノクターン第2番ホ短調、子犬のワルツ、幻想即興曲、バラード第1番ホ短調、革命のエチュードなど演奏され、アンコールも3曲あり聴衆も大満足でした。十勝クラブからも矢竹会長、中村会員、山下会員が参加されワイズ活動としても大いに盛り上がりしました。(文責 宮崎)



2025年（巳年）はどんな年？ 札幌クラブ会員の今年の抱負

海の向こうのアメリカでは、カナダを51番目の州にするとか、グリーンランドを買うとか、文句がある奴には関税を上げるぞ、とか言う凄い大統領が登場します。世界数か所で燃え盛ってる火の手、殺し合いは収まりそうにありません。我が日本は少数与党の綱渡り。財政破綻の東日本区。

2025年は巳年です。蛇は脱皮を繰り返して成長していく様から復活と再生のシンボルして縁起の動物とされています。「巳」は胎児の形から作られた文字で「産まれる」「将来性がある」という意味や、「ミ」という音から、お金が「身」につく、あるいは努力が「実る」という意味合いもあります。

さて、我が札幌クラブの巳年の運勢いかに？会員の皆さんに「今年の抱負」をお尋ねしてみました。

伏木 康

昨年はチミケップのワークに汝羊寮の学生3名を助っ人として連れて行きましたが、今年は札幌YMCAのユースボランティアリーダーを連れていきたいと思っています。

小谷 和雄

教会事務で多忙です。小遣もらえるのはうれしいのですが、そろそろ隠退をと決めています。自分の時間が欲しいです。

宮崎善昭

去年は90はあと3打で切れなかった。今年は、あと3打縮める。

山崎 修

巳年の今年、蛇のように粘り強く、目標達成に向けて一步一步着実に進んでいきます。どんな困難にも屈せず、最後までやり遂げる強い意志を持って取り組んでいきます。

小野 健

今年も健康に気を付けて海外でのお仕事、ワイズメンズクラブの活動、地域に何か貢献できるような取り組みを頑張っていきます。

本宮 大輔

私ごとながら、年男となりました。今年巳年。へビは脱皮することから変革をもたらすようです。

大きな成果につながる変化が得られるように尽力します。

秋葉 聡志

YMCAとワイズが協働して、地域の課題解決に貢献できる活動を増やしたいと思います。

中田 靖泰

失ったもの、なくなったものを嘆かずに、与えられたもの、残っているものに感謝して日々を送ろう。

北川 佳治

「For The Next Century」今年で北海道YMCA創立128年となります。先達が築き上げたこの歴史を、次の100年に繋げるために、これからも世の中に求められるYMCAを目指していきます。

安田 文子

今年はいっそう音楽で、ワイズメンズクラブの活動に協力していきたいと思っています。

十勝でウクライナの平和と能登とガザの平和を願うチャリティーコンサートを行います。

頑張ります。

札幌クラブ スキー例会

札幌クラブでは下記によりスキー例会を開きます。他クラブのスキーファンのワイズメンも歓迎致します。アルペールビル・オリンピックのオリンピックの札幌クラブ山崎修メンと一緒に全国有数のスキー場「カムイ・スキー・リンクス」を制覇するまたとないチャンスです。ぜひご参加ください。

場所：カムイ・スキーリンクス（旭川市）

日時：2025年2月15日（土）～2月16日（日）

連絡先：伏木康 fushiki-2060ye@star.ocn.ne.jp



YMCA ニュース

ウィンタープログラム&幼稚舎

担当主事 北川 佳治

「短期集中ウィンタープログラム開催中」

2024年12月26日から2025年1月17日の期間で、子どものためのウィンタープログラムが実施され、この冬休みも、総勢900名程の子どもたちの体験活動を札幌YMCAがサポートしていきます。

北海道の冬の醍醐味スキースクールを筆頭に、館内ではアクアティック、ジムナスティック、造形絵画、書道、将棋、英語、スクールなど魅力的なプログラムが展開されます。

2025年も、YMCAの活動を通して、YMCAに関わる皆さん全員でCommunity - Wellbeingを創っていきましょう。



「幼稚舎クリスマス」

2024年12月6日(金)10:00よりYMCA幼稚舎のクリスマス会がありました。初めにろうそくが4本灯り、讃美歌を歌って、園長先生の聖書のお話を園児たちは静かに聴きました。

いよいよページェント(クリスマス物語劇)の始まりです。このページェントは、3歳児、4歳児、5歳児にそれぞれ年齢に応じて役割分担があり、園児たちは日ごろの練習の成果を十分に発揮していたと思います。

保護者は3歳から5歳まで3年間参加するわけですが、子どもたちの歌やセリフの難易度も毎年上がり、それをやり遂げることが一つの成長の証しにもなり、涙する保護者のすがたも見うけられました。大勢の人前で大きな声で堂々と立派に発表できたことは、園児たちにとって大きな自信となることを祈りたいものです。(この項のみ宮崎善昭記)

札幌クラブ 2024年12月 事務会報告

秋葉 聡志

- ▼ 日時：2024年12月23日(月)19時～
- ▼ 場所：北海道YMCA 総主事室+オンライン
- ▼ 参加者：小野、小谷、宮崎、中田、安田、柴田、北川(オンライン) 秋葉、本宮、安田
列席：中田恵里花(元東京西クラブ)

1. 1月号ブリテン原稿執筆者の担当確認

- 1月企画は、各人3行ずつ一言。
- 1月例会 2025年1月21日(火)18時30分
卓話「はりきゅう整骨院MAYS 佐藤康裕氏」
➢ 体ケアについて(仮題)

出席確認：(出席)柴田、中田、小谷、宮崎、伏木(+健太)、(オンライン)小野

2. ワイズの活動報告

チャリティーコンサートについて、いまのところの集計では、売り上げ187,000円 経費約50,000円。十勝から3名参加。懇親会は2名。十勝チャリティーコンサートは、2/28。準備は、十勝クラブで行うとのこと。

3. 2025年2月以降の例会卓話(案)

- ・2月 加藤祐一(町田コスモス)「カトウ折り」
- ・IYC参加者報告

- ※1 折り紙をやるかも→小野会長から加藤さんへ打ち合わせを行って、細部の確認。(北川)
- ※3月以降の卓話候補⇒引き続き可能性を検討(案) 外国人子弟の支援活動をテーマにした卓話(案) 内モンゴル自治区からの留学生アムエル君(汝羊寮)
- (案) 北大院生でありながら起業している池田君

4. その他

1. 汝羊寮学Yとの交流会報告(11月28日)
2. YMCA子育て・子どもフェスティバル報告
➢ (12月1日(日)) コーヒーを提供。
➢ 来年度は東日本区グッズドライブの支援
3. ラッコ・マンボウ水泳発表会報告
4. 幼稚舎クリスマス礼拝報告 12/6 宮崎参加
5. 次期クラブ役員について
・小野会長継続。本宮メン書記継続
・3月の役員研修は、小野会長参加。
・会員増強のアイデアを種々語り合い、多くの提案があった。
6. 1/17 北見クラブ例会、部長公式訪問と入会式
7. スキー一泊例会のアイデア→山崎メンにコンタクト。2/15頃を予定。